

全固体電池学術共同研究拠点

NanoTerasuを用いた電池材料分析セミナー

放射光を用いた蓄電池材料分析 と次世代放射光施設 NanoTerasuへの期待

zoomによる
ハブリッド
開催

事前
申込制

セミナー講師

木内 久雄 先生

東京大学 物性研究所 助教



放射光による分析をはじめとする高度な分析技術は、新規材料開発を促進するための重要な役割を担っている。放射光は様々なエネルギーのX線を作ることができ、高エネルギーX線では結晶・アモルファスを含む材料の構造を、低エネルギーX線では元素毎の酸化還元状態から材料の化学状態を明らかにできるため、蓄電池開発にとって必須な情報を得ることができる。2024年4月には、従来よりも100倍明るい低エネルギーX線が利用可能なNanoTerasuの運用が開始され、今後益々の利用展開が期待されている。本講演では、高輝度なX線を活かした蓄電池材料の分析事例を述べるとともに、NanoTerasuでの実現が期待される新たな分析技術について紹介する。

日時

2024年 **11月27日** (水)

時間

セミナー 17:00~18:30
受付開始 16:30~

場所

会場：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス
学术交流会館（C1棟）小ホール

最寄り駅：南海高野線「中百舌鳥駅」徒歩約13分
南海高野線「白鷺駅」徒歩約7分 他

お申込み

▼WEBフォームにてお申込みください

<https://forms.gle/46TXxNbKsZVEihoB7>

申込締切 11月26日(火)



zoom

ミーティング ID 936 3003 8033
パスコード 082093



お問い合わせ

大阪公立大学 全固体電池研究所
(学術共同研究拠点事務局)

✉ gr-knky-assb@omu.ac.jp

☎ 072-254-8327

【主催】大阪公立大学全固体電池研究所

【共催】粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

【協賛】学術変革領域研究 A「超セラミックス：分子が拓く無機材料のフロンティア」